



【アジア Market 概況】

本日の東京市場では、ドル円は買い戻される展開となりました。週明け早朝のオセアニア市場では、週末から COVID19 感染拡大が続くなか、2 月中国製造業 PMI が予想を大幅に下回る弱い数字となったことを受けて豪ドル円中心に下落。一時 107.01 円まで売り込まれる場面もみられましたが、その後は「日銀による流動性供給の噂」が出回ると次第に下値を切り上げる動きとなりました。黒田日銀総裁が先週末のパウエル FRB 議長に引き続き、異例の「総裁談話」を表明。「潤沢な資金供給と金融市場の安定確保に努めていく方針」を打ち出した上で、時間外で「5000 億円の現先国債購入オペ」を実施すると一転して買い戻しが加速。300 円を超える下落となっていた日経平均が 450 円を超える急騰となるにつれて一時 108.37 円まで値を上げています。日経平均は後場に入って高値を付けたものの、その後は戻り売りに頭をおさえられる動きに。結局、201.12 円高で週明けの取引を終えています。

【海外 Market 見通し】

本日の欧州市場では、ユーロドルはもみ合いとなっています。アジア時間は米長期金利の低下につれて一時 1.1074 ドルまで買い上げられる場面もみられましたが、その後は 1.1050 ドルを挟んだ様子見となっています。市場参加者からは「1 月 31 日と 2 月 3 日の高値 1.1096 ドルが戻りの目処」との声もきかれています。ドル円は「200 日移動平均線の 108.40 円がレジスタンスレベル」として意識されています。今日の経済指標では、17 時 50 分に仏、55 分に独、18 時にユーロ圏、30 分に英の 2 月製造業 PMI 改定値が発表されます。23 時 45 分には 2 月米製造業 PMI 改定値が予定されています。24 時には 2 月米 ISM 製造業景気指数、1 月米建設支出が公表されるほか、翌 3 時には 2 月ブラジル貿易収支が明らかになります。また、英国と EU の離脱後初交渉が行われます。

通貨ペア	高値	安値	16:00時点	通貨ペア	高値	安値	16:00時点
USDJPY	108.37	107.01	108.30	AUDJPY	70.86	69.33	70.69
EURUSD	1.1074	1.1003	1.1043	NZDJPY	67.63	66.31	67.47
EURJPY	119.84	118.07	119.59	日経平均	21593.11	20834.29	21344.08
GBPJPY	139.13	137.02	139.01	TOPIX	1541.67	1488.89	1525.87
CHFJPY	112.44	111.39	112.27	上海総合指数	2982.51	2899.31	2970.93
CADJPY	81.24	79.89	81.14	国債10年債利回り	-0.1210	-0.1780	-0.1210

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ
 株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。情報の内容につきましては、弊社が正確性、確実性を保証するものではありません。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、弊社は一切の責任を負いません。